

「#(ハッシュタグ)」とは、SNS等で特定のテーマについて検索して一覧表示する機能のことです。
大分県内の農林水産業の中から選りすぐりの話題を大分県拠点からお届けします。

「大分☆農・カーボンプロジェクト」勉強会開催決定！

大分☆農・カーボンプロジェクト勉強会

<第3回テーマ>



有機農産物の物流

九州農政局大分県拠点では、「みどりの食料システム戦略」を大分県内で推進するためのプラットフォームとして、令和3年に「大分☆農・カーボンプロジェクト」を立ち上げ、定期的に勉強会を開催しています。第1回勉強会は「バイオ炭の農地施用」、第2回勉強会は「有機農業の現状と課題」について、生産者の取組発表と合わせ意見交換を行ったところ。第3回勉強会では、「有機農産物の物流」をテーマとした講演を受けて、意見交換を行います。

☆ 講演：生産者によるネットワーク構築の必要性と今後の展開

株式会社 ohana 本舗

代表取締役社長 赤嶺 祐司氏

☆ 取組発表：コープおおいたのSDGs・地域連携の取組

生活協同組合コープおおいた 組織支援本部

統括マネージャー 吉浪 稔氏



● 日 時： **6月17日(金)** 14時00分～16時00分

● 場 所：九州農政局大分県拠点 別館3階 第一会議室
(大分市中島西1-2-28)

《参加申込》

参加を希望される方は、**6月6日(月)までに**大分☆農・カーボンプロジェクト担当者宛お申込み下さい(先着順)

【大分☆農・カーボンプロジェクト担当】

大分県拠点地方参事官室 (TEL:097-532-6131)

◎申込アドレス: tetsunori_higuchi920@maff.go.jp

九州農政局 大分県拠点

「大分☆農・カーボンプロジェクト」の第3回の勉強会を開催します。テーマは第2回の勉強会で皆さんの関心を引いた「有機農産物の物流」についてです。

臼杵市で有機農業に取り組まれている(株) ohana本舗の赤嶺社長の基調講演、コープおおいた吉浪マネージャーのSDGs・地域連携の取組発表をそれぞれいただき、参加者により大分における有機農産物の物流の可能性について議論いただく予定です。

参加を希望される方は左のお知らせの参加申込欄をご覧ください。



プロジェクトのフェイスブックを立ち上げました！！



原油価格・物価高騰等総合緊急対策が取りまとめられました！

令和4年4月28日の閣議において、原油価格・物価高騰等総合緊急対策に関する予備費の使用が決定されました。これを受け、農林水産関係の事業が取りまとめられましたのでお知らせします。

対策のポイント

- 化学肥料、配合飼料、輸入小麦、木材等の原材料、生産資材等の価格高騰に対する緊急対策事業として、掛かり増し経費の支援、生産者に補填金を交付するための基金への積み増し、原材料の切替やコスト抑制への支援
 - 国際市況等の影響を受けにくい生産・流通・供給体制作りへの支援
 - 農林漁業者に対する金融支援
- などのほか、フードバンク活動強化対策などとなっています。
詳しくは右のQRコードで農林水産省HPをご覧ください。



農業者との意見交換

大分県拠点では「現場と農政を結ぶ」ことを目的に生産者・事業者との意見交換を実施しています。ここでは、その一部をご紹介します。

有機農家としての自立を目指して

家族4人で高知県から臼杵市に移住し、地域おこし協力隊の有機農業隊員として活動しています。有機農産物の集出荷や販売イベントへの参加、SNSによる情報発信を通じて臼杵市の有機農産物をPRするとともに、ベテラン有機農家の下で研修を重ね技術習得に励んでいます。食べた人が「美味しい」と喜んでくれる有機野菜を作ることが目標に日々奮闘中です。

明智大輔（臼杵市）
令和4年4月19日



地域で必要とされる経営者になりたい



国東市安岐町で米・麦・大豆を中心に高収益作物（キャベツ）にも取り組んでいます。地域の農地を預かり面積拡大を進め、ドローンや自動操舵トラクター、ほ場管理システムなどスマート農業を取り入れ効率的な営農を実践しています。地域から必要とされる経営者になれるように頑張っています。

松原ファーム（国東市）
令和4年4月21日

むらさきもち麦の地域ブランド化を目指す （6次産業化の総合化事業計画認定証交付式）



自社生産したむらさきもち麦を、長期保存が可能で調理に幅広く活用できるレトルト食品に加工し、新たな顧客の獲得と販路拡大を目指します。今後はむらさきもち麦の地域ブランド化を目指し、雇用の創出、地域活性化につなげていきたいです。

らいむ工房（国東市）
令和4年4月28日

自然の力を借りて地元へ安全な野菜を届けたい



大阪から豊後高田市に移住し、ひかり農園として無農薬、無肥料（ほ場雑草の緑肥のみ）で野菜を栽培しています。病気や害虫が発生することもあります。作物本来の力を信じ、自然の力を借りて野菜を栽培しています。お客様、生産者、環境に優しい社会を目指し、これからも安全な野菜を届けたいと思います。

羽野由利子（豊後高田市）
令和4年5月19日

食品ロスと食の貧困を同時に解決する

あまいろ商店は、規格外の農産物や賞味期限間近の食材を農家や流通業者から無償で譲り受け、必要とする方に無料提供を行うボランティアグループです。困っている人への無料配布が基本理念ですが、一般の人に活動を知ってもらうことも大事なので、来店者は自ら考える金額をお気持ち箱へ投入する仕組みです。食品ロスと食の貧困の同時解決を目指し、困っている方のお役に立ちたいと常設店舗で毎週土曜日営業しています。

あまいろ商店（別府市）
令和4年5月20日

